

陸良 ゼスク 聴取-0325		
私が欲しいものが手に入ると言われて来た。 昔はとある屋敷に勤めていたが、今は暇をいただいている。		
館にいる人について		
人物	印象	死体発見前夜の話
市川 睦月	常に俯き、人生に後悔をしているようだった。	部屋に居たね。特に何もおかしなところはなかった。
一ノ瀬 イチカ	興味深いが、お互い干渉はさせている。	
二戸 仁	・・・死人に対して言う言葉ではないが、好きではなかった。	部屋に居たよ。特に何もおかしなところはなかった。
双葉 宗次	まだ若いという印象だ。	
生三 宮	・・・そうだね、いい子だった。本当に。優しくていい子だった。	部屋に居た。特に何もおかしなところはなかったね。
三田 満美	相容れないが、まあ、相容れる必要もないだろう。	
詩志麻 司馬	随分と悩んでいるようだった。見ていて可哀想だった。たった一步間違えただけなのだろうけれど。	部屋に居たが、実は少し水が飲みたくてね。夜、食堂へ行くとき見かけたよ。彼は一人だった。声をかけたがぼうっとしていた様子で。特に会話もせずに私はそのまま部屋に戻った。
御膳 檜檜	・・・難しい。私がどうこう言うことじゃない。本人はきっと幸せだと思い込んでいる。	
陸良 ゼスク		
志知沢 七	子供だ。可哀想な子供だが、いや、何でもない。	
????? (8の客)	犯人だと聞いているよ。	
九重 弓香	色々なことが起きているが、彼女は彼女の仕事を全うしようとしている。好感が持てるよ。	
館へ来た日		メモ
3月20日		ただならぬものを表すならば、彼をあげていいほどの貫禄を感じる。この事件について協力的なのか、そうではないのか判断が難しかった。